

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月06日

計画の名称	大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成33年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大山崎町												
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化に伴う浸水リスクの増大に対し、総合的な浸水対策と施設の耐震化を実施することにより、住民の生命と財産を最大限守る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,410	A	2,410	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H31末	H33末
1	10年確率降雨に対応するため、大山崎排水ポンプ場の排水能力を現有10.2m <sup>3</sup> /s（50%）から20.1m <sup>3</sup> /s（100%（H31末））に向上させる。 大山崎排水ポンプ場の排水能力 排水能力/予定排水能力（予定20.1m <sup>3</sup> /s）	50%	100%	100%
2	雨水排水ポンプ場における耐震診断実施率を0%（H30）から100%（H33末）とし、完了させる。 雨水排水ポンプ場における耐震診断実施率 対策済箇所/対策予定箇所（2施設）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	新設	大山崎排水区 (大山崎排水ポンプ場)	排水機場増設 Q=10.2m3/s	大山崎町	■	■				2,240		—	
	A07-002	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	管渠 (雨水)	改築	大山崎排水区 (雨水管渠)	浸水対策工事	大山崎町			■	■			20		—
	A07-003	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	—	大山崎・下植野排水ポンプ場耐震化対策	耐震診断・耐震化対策	大山崎町	■	■	■	■			150		—
										小計							2,410			
										合計							2,410			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大山崎町において、目標と指標の達成状況を評価。

事後評価の実施時期

令和5年8月

公表の方法

町ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・大山崎排水ポンプ場に新ポンプ棟を設置しすることにより、排水能力が現有10.2m<sup>3</sup>/sから20.1m<sup>3</sup>/sに向上し10年確率降雨に対応した。
- ・雨水排水ポンプ場2箇所の耐震診断を実施し、耐震診断実施率を100%となった。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・大山崎排水ポンプ場の排水能力が2倍となり、新ポンプ棟稼働後は内水浸水が発生していない。また、排水ポンプが4台となりポンプ故障時の浸水リスクが軽減された。
- ・雨水排水ポンプ場の耐震診断を実施することにより、耐震補強等の必要箇所が明確となり耐震対策事業の事業スピードの向上が見込める。

○特記事項（今後の方針等）

- ・大山崎排水ポンプ場については、今後ストックマネジメント計画に基づき維持、更新を行い適切な機能維持を行う。
- ・雨水排水ポンプ場2箇所については、今後耐震診断で判明した脆弱箇所の対策工事を実施します。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	排水能力/予定排水能力（予定20.1m3/s）	
	最終目標値	100%
2	対策済箇所/対策予定箇所（2施設）	
	最終目標値	100%